



幼保連携型認定こども園

倉治こども園

こども園だより

令和 6年 12月 1日発行

園長 伊賀 治

思いやりと感謝の心を育むために

今年も残すところあと1ヶ月となり、子どもたちにとってはサンタさんが待ち遠しい時期になりました。急に朝夕の冷え込みを感じる季節となり、体調を崩しやすい時期でもあります。体調管理には十分ご留意下さい。

さて、11月は、行事の多い月となりました。1日は、さくら組がみこし巡行を行い、秋祭りでは、お手玉投げ、段ボールフリスビー、魚釣りゲーム、ワニワニパニックなど、様々なコーナーで存分に楽しむことができ、思い出に残る秋祭りになったことと思います。

また、七五三詣りとして、2～5歳児が機物神社へ出向き、代表して5歳児がお詣りをしました。厳粛な雰囲気を感じ取り、神妙な面持ちで神事を見守っていました。倉治こども園の子どもたちの成長に感謝するとともに、これからの健やかな成長を願っています。

現在は、12月7日の発表会(2～5歳)に向けての取り組み(準備・練習)が進んでいます。劇は、さくら組「びじょとやじゅう」、もも組「うらしまたろう」、うめ組「ぼんたのじどうはんばいき」、すみれ組「ぐりとぐら」に取り組み、子どもたち一人一人は、自分の持ち味を発揮しながら頑張っています。今から本番が楽しみです。発表会以外にも、お餅つき・クリスマス会と行事が続きますが、この経験が子どもたちの成長や良き思い出につながることを願っています。



【交通安全教室～交野署よりお巡りさん来園～】



交野市の交通安全教室として、交野警察署と市の危機管理室より来園いただき、園庭で歩行訓練を実施しました。実際に信号や横断歩道、踏切などを想定し、交通安全の大切なポイントを学ぶことができました。お話の最後に、3つの約束として、道路では「遊ばない」「飛び出さない」「よく見て渡る」の3つの大切なことを教えていただきました。



【みかん狩り】

もも組・さくら組は、みかん狩りへ行ってきました。園児たちは、ハサミを使ってみかんを1つ1つ収穫し、収穫の喜びを体験しました。みかんは、1つを試食し、7つをお土産にいただきました。「いつものみかんより美味しかった」と感想を言う園児もいました。食べ物への感謝や作って下さる方への感謝の気持ちが育まれると嬉しく思います。日頃の「いただきます」の時にも、「感謝していただきます」の気持ちを大切にしていければと思います。



●「おはよう」の3つの意味

「おはよう」という朝のあいさつは、「自分の心を開いて相手に向き合う」ための一言です。まず、自分から心を開くわけですから、勇気が必要です。そして、朝のあいさつは、あいさつをする相手に対しては、次の三つの意味を込めた言葉だといえるでしょう。

1. 相手の存在を認める（あなたは私にとって大切な人）
2. 相手の幸せを祈る（きょうも一日、どうかご無事で）
3. 相手との良好な関係を願う（きょうも一日、よろしく）

これらはいずれもプラスの心です。朝のあいさつの習慣がなかった人が「おはよう」というあいさつを習慣にすることは、このようなプラスの心を生活習慣にすることにつながります。（「ニューモラル」より）

あいさつは、「自分から先に」と言います。園でも大人が率先して、子どもたちへのあいさつを心がけています。何時でも気持ちの良いあいさつや笑顔があふれる倉治こども園でありたいです。

おはようございます!!



【お知らせ】

- 1月4日(土)は家庭保育協力日としております。
- ・お弁当の持参と就労証明書の提出をお願いします。
- ・勤務があるため保育を希望される場合は、12月10日までに担任へお知らせ下さい。
- ・利用者がいない場合は、休園とさせていただきます。

